



令和8年 2月 2日発行 江別市立上江別小学校

URL <https://www2.ebetsu-city.ed.jp/kamiebetsu-es/>



学校教育目標

いきいき のびのび
 ☆かんがえる子
 ☆やさしい子
 ☆げんきな子
 ☆なかよくする子

令和7年度 後期保護者アンケートについて

保護者の皆様、本アンケートにご協力いただきありがとうございました。このアンケートでは、お子さんの様子から学校教育について振り返っていただき、評価、ご感想ご意見をいただきました。これらを参考に、年度末、そして新年度に向けて改善を図っていきたいと考えております。これからも、保護者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、学校教育を進めてまいります。どうぞご協力をよろしくお願い致します。

※215家庭からご回答をいただきました

	そう思う	まあまあ そう思う	あまりそう 思わない	まったく そう思わない
1, お子さんは、学校が楽しいと感じていると思いますか。	42.3%	49.8%	6.5%	1.4%
2, お子さんは、授業がわかりやすいと感じていると思いますか。	31.8%	61.2%	6.5%	0.5%
3, お子さんは、落ち着いた学校生活を送っていると思いますか。	37.7%	54.4%	7.0%	0.9%
4, お子さんは、先生方が質問や相談にのってくれると感じていると思いますか。	41.9%	49.3%	7.9%	0.9%
5, 学校は、自信や根気を育む教育を実践していると思いますか。	33.8%	55.9%	9.9%	0.5%
6, 学校は、思いやりの気持ちを育む教育を実践していると思いますか。	36.2%	55.4%	8.5%	0.0%
7, 学校は、ルールを守るといった、規範意識を育む教育を実践していると思いますか。	46.0%	49.3%	4.7%	0.0%
8, 学校は、読書習慣を育てていると思いますか。	44.4%	44.4%	10.7%	0.5%
9, 学校の花壇は、きれいに整備されていると思いますか。	51.2%	44.7%	3.7%	0.5%
10, 学校は災害や不審者対策等、自らの命を守る意識を高める指導を行っていると思いますか。	41.1%	50.0%	8.9%	0.0%
11, 学校は、お子さんの外国語や外国の文化に対する興味関心を高める指導を行っていると思いますか。	32.1%	52.6%	14.9%	0.5%
12, 学校は、子どもの様子などをわかりやすく伝えていきますか。	33.5%	50.2%	14.0%	2.3%
13, 学校は、小中一貫教育のことをわかりやすく伝えていきますか。	17.7%	55.8%	25.1%	1.4%
14, 学校は、保護者の願いや期待に応える教育活動を行っていますか。	29.3%	61.4%	7.9%	1.4%

※数値は四捨五入しているため、合計が100にならない項目もあります。

14項目中11項目において、「そう思う」「まあまあそう思う」の肯定的評価が85%以上となり、後期も保護者の皆様から高い評価をいただきました。これも、子どもたちの頑張りや、保護者の皆様のご理解ご協力のおかげです。ありがとうございます。特に本校で重視している「1. 学校が楽しい」は肯定的評価が92.1%(前期調査比+1.5P)、「2. 授業がわかりやすい」は93.0%(同+1.5P)と高評価をいただきました。

一方、7～8%前後の割合で否定的な評価もあり、前回調査より増えました。本校が最も重視しているこの2項目ですから、7～8%の否定的な評価について、しっかりと受け止め、次年度より多くの児童にとって「楽しい学校」「わかりやすい授業」を目指して改善していきます。

いただいたご意見については、以下に載せました。

※ご意見については、原文のまま掲載しております。

※個人的な内容に関わるご意見については、個別に回答させていただいております。

※個人が特定されるような内容については、掲載をしておりません。

【担任や職員に関すること】

- ・先生が定期的に児童に個別で困っている事や悩み事がないか等を聞いてくださっているようで、問題解決へと繋がり感謝しています。
- ・学校は楽しいこともあるけれど、行きたくないと思ってしまうようです。いつも丁寧に関わってくださり感謝しています。帰ってくると先生がこんなこと言って褒めてくれて、嬉しかったとか、先生とこんなことして遊べて楽しかったとか、話してくれます。これからも構ってあげてください。よろしくお願いします。
- ・いつも子供が「先生がこうやって言った」と感銘を受けた事を教えてくれます。良い教育していただいているのがわかります。
- ・子供の様子を連絡ノートや電話でいつも報告してくださるのでとても助かっています。
- ・子供たち、健やかに育っていると感じていますので、先生方には感謝しております。
- ・担任の先生は子供の様子を細やかに見てくれているように思う。
- ・子どもが何かあったときは、担任の先生に話してみると言っていて、力になってくれると信頼している様子がある。
- ・子どもの事で相談すると親身になって聞いて行動してくれるので助かっています。授業公開日に行った時、参観日とは違う普段の学校の様子がよくわかったのでとても良かったです。
- ・いつもきめ細かく指導や支援をしていただけてと思います。
- ・先生方の細やかな対応にとっても助けられています。
- ・個人懇談時にお願いした事を見て頂いた。電話でも様子を教えて頂き感謝しています。
- ・今の担任の先生はとても良く見てくださり、子どもも担任の先生は大好きです。安心してお願いすることが出来る先生です。ただ、学校全体で見ると、あまりそう思わないと感じる先生や、授業や行事の内容だと思えます。今は担任の先生が信頼出来る先生だから良いですが、次年度以降の先生によってはどうなるかわからないような雰囲気があるので、良いイメージが学校にありません。
- ・注意の仕方に個人の感情をいれすぎていると感じる。

後期も温かいご意見、お言葉をたくさんいただきました。これらの温かいお言葉が私たち教職員の力になっています。本当にありがとうございます。

一方で、担任によって対応や授業に差があるといった内容のご意見もありました。学校全体として統一した指導方針で教育にあたることは大変重要であると考えております。教員の連携を密にし、組織的な指導を徹底します。学年団での打ち合わせを綿密に行い、進度や指導方法の足並みを揃え、どのクラスの児童も安心して学べる環境づくりに努めます。

また、先生の指導が感情的になりすぎるというご意見がありました。指導の目的は、子ども自身の「気づき」と「成長」にあります。教員の感情的な態度は、子どもを萎縮させるだけで教育効果は低いと考えております。これらのご意見を真摯に受け止め、全教職員が自身の言葉遣いや態度を振り返り、冷静かつ愛情のある指導ができるよう、研修や打ち合わせ等を通じて改善を図ってまいります。

【学習に関わること】

- ・不満あり。絵の具や書道などの片付けを学校でやらないため、道具や家が汚れる。早急に改善してほしい。
- ・風邪などで休んだ時、コロナ化の時の様にリモートで授業が出来ると嬉しいです。
- ・午後は、どうしても眠くなったりするので、音楽や図工など、楽しい授業のほうが効率がいいのかなと思います。
- ・班活動などの中から、もう少し積極的に発言したり、お友達と話せるようになればと思います。
- ・6年生でも算数の少人数制を実施して頂けたら有難かったです。
- ・「あゆみ」を初めて見ましたが、記号だけではわからない頑張りや成長を文章でも知りたいです。事前の面談でも時間制限がある中、あっさりとした振り返りだったため、大変だとは思いますが、評価報告の改善をお願いしたいです。
- ・学年を重ねていくと勉強の差が出てくるのはありますが、その際に親でもどう教えたら良いのか分からない問題があれば、つど先生に何度も教えてもらえるように伝えてます。私はそれを先生に伝えて、子供が学べますが中にはそれが難しい子供もいると思います。勉強や学校生活で子供が悩んだり、不登校になってる子供たちに先生方も親も気づき声がけをして楽しかったな。と思える学校になってくれればいいなと思います。
- ・スキー学習の回数が減っていますが、スキー用品を揃えなければならず負担も大きいので、廃止にしてもいいのではと思います。
- ・スキー授業なども今年もスキー場に行くのは一度だけとお知らせがきましたが、学校でもやるとはいえ、一度だけのためにやはり準備など費用の負担も大きいですし、スキー以外のスポーツでも良いのかなと思います。

【絵の具や書道の片づけについて】

本校は児童数が多く、水飲み場の数に限りがあるため、絵の具や書道用具の洗浄を一斉に行うと場所を長時間占有してしまい、他学年の児童の利用に支障が出てしまう状況が考えられます。ご理解、ご協力をよろしくお願いします。

【リモート授業について】

体調が悪く欠席をするときは、体力の回復を優先し、ゆっくり休んでいただければと思います。長期的なお休みになるなど不安があるときは、担任にご相談ください。

【時間割について】

時間割については、できるだけ午前中に国語・算数などを入れ、午後に図工や音楽など活動的な学習を入れるように心がけていますが、使用割り当てや担当者の関係で午後になってしまうこともあります。ご理解いただければと思います。

【少人数指導について】

今年度は、教科担任制に重点をおいて学習活動を進めています。今年度中に少人数指導を行うことは難しいかと思いますが、中学校進学に向けた算数の見直しを授業の中で行っていきます。また、今年度の指導体制の成果と課題を明らかにし、次年度の職員体制の中で検討していきたいと思っています。

【あゆみについて】

一昔前に比べると、通知表「あゆみ」の記載内容が簡素化され、ご意見にあるように感じられる方もいるかと思います。これまで「あゆみ」作成にかけていた時間を短くし、子どもたちと向き合う時間をより多くするための対応ですので、ご理解ください。お子様の詳しい様子をお聞きしたい場合は、ぜひ学校までお問い合わせください。

【宿題について】

タブレットの持ち帰りは、「宿題のため」だけでなく「タブレットを活用した家庭学習」を推奨するためです。自由課題に取り組む、普段の学習を深めるなど、効果的な活用を進めたいと思っています。また、日常の丸付けのご協力ありがとうございます。学習内容によって丸付けが大変な時には、担任の先生にご相談ください。

【学習の遅れについて】

本校では、学習サポーター、特別支援員、心の相談員、登校支援委員、スクールカウンセラーなどの職員が在籍し、児童が安心・安全に学校生活を過ごすことができるように、児童の学びの様子を情報共有し、サポートしています。ご記述いただいたように、児童たちが「楽しかった。」と感じられる学校となるよう、引き続き、職員一丸となって組織的に取り組んで参りたいと存じます。何かお気づきの点や、心配なことなどありましたら、担任もしくは、特別支援 Co を兼任している主幹教諭までご連絡ください。

【スキー学習について】

費用面等でご負担をおかけしていることを承知しております。本校では、北海道の豊かな自然環境を活かした体験活動として、スキー学習を体育科の重要な学習の一つと位置づけています。この学習には、次のような教育的なねらいがあります。

- ・雪上での運動を通じて、バランス感覚や体力を育てる
- ・冬の自然に親しみ、安全に活動する態度を身につける
- ・生涯にわたって楽しめる運動習慣の基礎をつくる

費用につきましては、できる限り負担を軽減するよう、学校としても工夫を重ねており、バス代金の高騰に伴い、スキー場での学習を1回に減らした経緯もあります。市内においても、教育的ねらいを達成しつつも工夫を重ねて、全小中学校で実施しているところです。また、何よりも大切にしたいのは、スキー学習を楽しみにしている児童がたくさんいるということです。引き続き、児童の健やかな成長のため、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

【きまりに関すること】

- ・水筒の中身についてですが、夏以外の期間もお水の他にお茶を許可してもらえないでしょうか？
- ・行事で車で行けないのが少し不便です。足の悪い祖母を連れて行けないのは残念です。発表会の日に買い物にホクレンに行きましたが、皆さん車を停めて学校に向かわれているようで駐車場がいっぱいでした。ルールを守っていただきたいなと思います。
- ・何をしたらダメなのか、危険なのかももう少し子供たちが理解すべきだと思う。

【水筒の中身について】

夏場、熱中症対策のため水筒の携行をお願いしています。熱中症の予防には、水・お茶・スポーツドリンクが効果的であるため3種類に限定しています。学校としては、熱中症対策の必要ない場合は、お弁当の時を除き、水筒を携行する必要はないと考えております。そのため、前述の場合以外も水筒を持参させたい場合は、水のみとしています。

【駐車場について】

本校の敷地内には、すべての保護者の皆様のお車を駐車できる十分なスペースがございません。駐車台数が限られている中で、公平性を保ち、安全な運営を行うため、車両の乗り入れを制限させていただいております。

また、学校行事に関わらず、児童の登下校時の安全を確保することは学校の責務です。多くの車両が校地内や学校周辺に集中することにより、交通事故のリスクが高まります。そのため、お子様の安全を最優先するため、可能な限り車両の乗り入れ台数を抑えたいと考えております。特別な事情がある場合は、駐車券を発行しておりますので、ご相談ください。

発表会当日のように多くの保護者の皆様にご来校いただく際、近隣の商業施設の駐車場をご利用されたり、路上駐車をされたりするケースが見受けられるということですが、これは、お店を利用される一般のお客様や近隣住民の方々へ多大なご迷惑をおかけする行為となり、店舗とのトラブルや、地域住民との関係悪化の原因になりかねません。

近隣の商業施設への駐車、および路上駐車は、絶対にしないよう重ねてお願いいたします。

皆様にはご不便をおかけいたしますが、上記のような事情をご理解いただき、行事の際は、公共交通機関をご利用いただくか、徒歩または自転車でのご来校にご協力をお願いいたします。

【児童の規範意識】

善悪の判断について、学校では、「なぜダメなのか?」「なぜすべきなのか?」子どもたち自身に考えさせながら、日常的に指導しています。校内・校外生活のきまりを確認していただき、学校と家庭で共通理解の上、指導をしていければと考えております。

【心の教育に関すること】

- ・娘は楽しく学校生活を送っておりますが、知り合いの1年生の子がいじめにあっています。半年位前から先生に相談しているらしいですが、改善されてないようです。いじめに対する教育をしっかりと願います。いじめめる子は人の痛みがわからないんだと思います。どんどんエスカレートしてしまいそうで心配です。
- ・アンケート3の落ち着いて生活しているかとの問いでは、③を回答しましたが、学校は楽しいが、ある子から暴言や嫌なことを未だにされると。以前から先生に相談をしていますが、保護者からもいじめの件ついてアンケート取ってもいいのかなと思いました。もし見当違いであれば申し訳ございません。

いじめについては、最重要課題として、学校全体で取り組んでおります。いじめとは、特定の間関係にある者から、心理的または物理的な攻撃を受け、被害者が心身の苦痛を感じる行為です。教師の観察、子ども・保護者の訴え、地域の方々からの報告、そして年3回実施しているアンケート等、様々な方面から情報を収集し、「いじめ見逃し0（ゼロ）」を目指すとともに、「いじめは絶対に許さない」という姿勢で取り組んでおります。心がまだまだ発展途上にある子どもたちですから、いじめは当然あるものととらえています。保護者の方からのアンケートをとる予定はありませんが、ご家庭で、お子様の様子「いつもと違う」「元気がない」と感じるがありましたら、些細なことでも構いませんので、遠慮なく学校へご連絡ください。学校と家庭が手を取り合い、子供たちの笑顔を守っていきたくと考えています。ご理解とご協力をお願いいたします。

【情報・連絡発信に関すること】

- ・保育園の頃とは違うとはわかっているものの、子供がどんなふうに学校で過ごしているのか、友達付き合いや先生とのやりとりがあまり見えないのが少し気になります。学級通信も先生達のご負担になるとは思いますが、月2でもいいので写真を添付して様子をみれるようにしていただけると、尚嬉しいです。
- ・学校からの情報発信が少な過ぎると思う。
- ・学校での様子などがわかるものが少し少なく感じます。保護者が学校に行く機会も限られていますし、写真も行事のときだけで、ブログで子供の様子などもわからないですし、学年だよりなどでも活動の様子があまりわからないですし、もう少し学年ごとクラスごとなどで子供の様子が知れたら良いなと感じます。
- ・学級便りがある時は、子どもたちの普段の様子や、教室での取り組み、担任の先生のお考えなどを知ることができ、家庭での会話のきっかけにもなっていました。しかし、学級便りがなくなったことで、子どもたちが学校でどのように過ごしているのかが分かりにくくなり、担任の先生のお考えや学級の雰囲気も伝わりにくく感じています。
- ・前回、学級通信がまったく発行されておらず、子供の学校での様子がわからないとお伝えしました。そのあと配信されたアンケート結果から他の親御さんも同じように感じているのだと思いました。子供たちの様子は学年通信などで発信するとの回答でしたが、その後、学年通信を読んでいます。持ち物や学校生活のお知らせしか掲載されておらず、学校での子供の様子は一切わかりません。親達が求めているのは、このような事務連絡ではなく、自分の子供の学校での様子です。文章をたくさん書いた学級通信を出してくださいと言ってるわけではありません。子供の学校での様子が写っている写真だけ載せて配るだけでも全然子供の様子がわかります。仕事で参観日、学校行事に参加できない親もたくさんいます。学校での生活を唯一知る手段として学級通信があると思いますので、お忙しいこととは思いますが、方針の再考を願います。
- ・学校からのお便りは、ほとんどが配信されますが、中には非常に見づらいものがあります。例えば、このアンケート結果や発表会等の観覧場所をお知らせするものなどです。用紙削減は理解しますが、スマホでスクロールしたり拡大したりしながら見るのは、非常に不便です。

【児童の様子発信について】

この度の後期保護者アンケートにおきまして、学級通信などの学校の情報発信について、「回数が少なすぎる」「子どもたちの様子をもっと発信してほしい」という貴重なご意見・ご要望を複数いただきました。前期のアンケートにおきましても同様のご指摘をいただいております。その際にはホームページ、学校だより、学年だより等を通じて発信を強化する旨をお答

えしておりましたが、皆様のご期待に十分にお応えすることができず、申し訳ありません。学級通信につきましては、もとより発行を廃止したわけではございません。しかしながら、日々の教育活動に加え、学級通信の作成にかかる担任教員の業務負担の軽減を最優先に考えた結果、一部の学年・学級を除いて、発行回数が大幅に減少し、実質的に発行に至らない状況が続いておりました。皆様からお寄せいただいた「子どもたちの学校での様子を知りたい」という切実な願いを重く受け止め、学校として以下の通り対応を検討してまいります。

【今後の対応について】

今後は、子どもたちの学校生活の様子を可能な限りお伝えするよう努め、教員の働き方改革の観点からも重要となる担任の業務負担が過度に大きくならない範囲で、情報発信の方法と頻度について検討し、改善してまいります。ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

【データによる情報発信について】

「費用削減」「負担軽減」の趣旨をご理解いただきながらも、スマートフォンでの閲覧時に「スクロールや拡大が必要で、非常に見づらく不便である」とのご指摘は、情報を受け取る皆様の立場に立ったときの大変重要な視点であると受け止めております。

学校だよりや各種お知らせの電子化を進めている背景には、資源保護の観点からの用紙・インク等の費用削減と、印刷・仕分け作業にかかる教職員の業務負担軽減という目的がございます。また、学校だよりにつきましては、現段階におきましても、紙面での配付をお求めの場合は、ご連絡いただければお渡しする旨をご連絡しております。

今後は、内容の特性に応じて、紙面配付と連絡ツール配信の併用を進めてまいります。スマートフォンでの閲覧時に不便が生じやすい情報については、紙面での配付を活用することを検討いたします。

今後も学校といたしましては、地球環境への配慮と限りある学校予算を有効活用するため、引き続き用紙・インク等の費用削減、そして教員が子どもたちと向き合う時間を確保するための業務の削減に取り組んでまいります。何卒、今後の用紙削減・業務削減への取り組みにも、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

【行事に関すること】

- ・インフルエンザの流行時期に発表会はできたらやめてほしいです。時期を早めても良いかと思えます。
- ・運動会が2種目しかないので運動会にしくなくてもいいのではないかと思います。座っている席の前のほうに自分の子どもの時は立って写真など撮れるようにしているが、そのせいで後ろに座っている人達はなにも見えなく応援などもできず本当につまらない。自分の子どもだけ見ればいいのならば体育の時間に発表などをするだけでいいのではないかと思います。子どもが5人いて上4人上江別小学校卒業しているのですがこんな運動会のはじめてでびっくりしました。
- ・運動会や発表会など、年に数回子どもの成長を感じられる貴重な場が種目の縮小や、参観日のような発表会は、子どものやりがい、楽しさを損なっているような気がします。
- ・よくわからない場面で給食なしで弁当の日があったり等、他の市では聞かないので不思議です。
- ・発表会の総練習などの日に給食が出ないことも意味がわからない。

学校には、学習指導要領に基づき、年間で必要な授業時間を確保する責務があります。過度な練習期間を設けることは、普段の教科の授業時間を削ることにつながり、子どもたちの基礎的な学力定着に影響を及ぼしかねません。行事と学習の両立を図り、子どもたちがバランスの取れた成長ができるよう、学校全体でカリキュラムを慎重に設計しています。

そのような中でも行事を通して、教育効果が高められるよう、先生が用意したものを練習するだけでなく、子どもたちが自分たちで目標を設定し、役割分担をし、困難を乗り越える工夫をするなど、主体的に活動を企画・運営する場面を多く取り入れるようにしています。種目の結果や完成度だけでなく、努力した過程や、仲間を支えたこと、表現の工夫など、一人ひとりの子どもが見せた内面的な成長に焦点を当て、称賛するようにしています。

学校行事は、子どもの成長を実感できる貴重な場であるという認識は、学校も保護者の皆様も同じです。今後も、

①教育的意義を損なわないこと

②子どもたちの負担を過度に増やさないこと

③教育課程との整合性を保つこと

を基本に、「規模」ではなく、「教育的な価値」を最大限に高められるよう、そして、子どもの成長が保護者の皆様にも伝わるよう教職員一同、尽力してまいります。

お弁当の日については、行事に関わってお願いしている場合が多く、事前に学校だよりや学年だよりでお知らせしているところです。主に運動会や遠足の予備日にお弁当の用意をいただいています。学習発表会の児童公開日にお弁当をお願いしているのは、各学年の発表内容・実行委員の動き、学年の出入り・用具の出し入れなどなかなか時間が読めないことがあり、給食時間に間に合わないことが予想されるため、弁当持参に協力をいただいています。ご理解・ご協力をお願いします。

また、学習発表会の実施時期についてご意見がありましたが、市内で行事を調整していること、インフルエンザ等がいつ流行するか予測が難しいことから、現在の時期に実施しています。ご理解ください。

【その他全般】

- ・選挙の投票時に学校の花壇を見ましたが、雑草なのか育てている植物なのかわからない状態で、とても驚きました。
- ・猛暑対策として、夏休み前1週間程度の期間に、給食を食べてからすぐに下校が数日ありました。子供達を守る為の対応だったと記憶していますが、13時頃から炎天下の中を歩くのは、最も暑い時間帯であるように感じました。子供達を守っているのか、危険にさらしているのか…。見直しをしてほしいです。
- ・危険な事に遭遇した場合の対処法はもっと積極的に取り組んでほしい。
- ・先生方はカリキュラムであったり指示されてることを守ることに必死に見えます。子供達に何を伝えてるか、1人の人間を育てているということをもっと自覚して思いやりを持って子供たちと対話してほしい。教師の人間性を育てることも大切だと思います。
- ・もっと読書の時間を増やしてほしい。家でも読ませるような課題等も出して欲しい。
- ・小中一貫に関しまして、数年前から資料等で伝えていただいていると思いますが、学校生活や小中の連携に具体的にどんな変更があったのか、資料を読んでもいまだによくわかりません。
- ・小中一貫に関してはまだあまり実感が無いのが本音です。

【花壇について】

今年度は、猛暑の影響もあり、屋外活動が制限されることも多く、管理が行き届かないこともありました。また、長期休業中は、児童によるお世話も限定され、職員によるお世話も毎日というわけにはいきませんでした。今後、花壇の在り方について見直していく予定です。低学年児童にはきめ細かなお世話がうまくできないこともあります。保護者の皆様にもご協力いただけると助かります。

【熱中症対策について】

ご指摘の通り、給食後の下校措置によって、最も気温が高くなる時間帯にお子様を炎天下で歩かせてしまうのではないかと、という保護者様のご心配はもっともなことで、真摯に受け止めております。この猛暑対応については、学校内で様々な状況を総合的に考慮した上で判断していることを、まずはご理解いただきたく存じます。

《猛暑時の下校判断における考慮事項》

学校として、連日の猛暑の中で「子どもたちを守る」という目的を果たすために、以下のような複数の要素を複合的に検討し、その都度最適な判断を下しております。

★熱中症リスクの比較検討★

暑い校舎内に留まるリスク

～教室内にエアコンはなく、高温の校舎内で過ごすことによる熱中症のリスク。

炎天下の下校リスク

～短時間ではあるものの、炎天下を歩くことによる熱中症のリスク。

給食喫食の必要性

～給食を食べずに帰宅させることが、午後の活動に必要なエネルギーや水分補給の機会を失わせる危険性。

家庭での対応可能性

～突然の措置に対し、保護者の皆様が急な帰宅時間変更に対応可能かどうか。

その他

～気象予報や実際の気温の上がり方、熱中症警戒アラートなどの情報を逐一把握しています。

これらの検討の結果、「給食でエネルギーと水分を補給した上で、高温状態が続く校舎に長時間留まるよりも、多少早い時間帯であっても下校させる方が、総合的にリスクが低い」と判断する場合に、短縮下校を実施しております。

今後の対応につきましては、教育委員会や近隣学校と密に連携を図りながら、最新の予報や気温上昇のデータを考慮し、最も安全な対策を講じてまいります。

危険度が極めて高いと判断される場合には、保護者の皆様に学校への「お迎え」をお願いする場合もございます。この場合は、緊急性の高さを鑑み、ご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

【学校・職員の姿勢について】

本校の教育活動の根幹にかかわる大変重要かつ貴重なご意見をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。保護者の皆様から見て、教職員が日々の業務やカリキュラムの遂行に追われているように映ってしまったことは、本校の教育の最も大切な部分が十分に伝わっていなかった証左であり、重く受け止めております。「人として子どもにどう向き合うか」という原点に立ち返り、以下のような取り組みを通じて、指導姿勢と人間性のさらなる向上に努めてまいります。

《対話の時間と質の確保》

カリキュラムの進行に追われる中でも、子どもたちとの個別的・集団的な対話の時間を意識的に確保し、子どもたちの心の声に耳を傾け、より深く理解する姿勢を徹底します。

《教員研修の強化》

「教師の人間性の向上」を目指し、教職員一人ひとりの資質と専門性の向上を図ります。

《チームとしての指導力》

学年や学校全体で指導観を共有し、どの先生も一貫して温かく、思いやりのある指導ができるよう、チームとして互いに学び合う機会を増やします。

保護者の皆様の期待に応えられるよう、教職員が一丸となり、教育のプロフェッショナルとして、子どもたちの未来のために尽力してまいります。

【読書活動について】

学校では週1～2回、朝読書を実施しております。ご希望のように、本に親しむ機会をさらに増やしたいところですが、学校ではその他にも様々な取り組みがあるため、読書の時間を新たに設定したり、朝読書の時間を延長したりすることが難しいというのが現状です。そのため、家庭に本を持ち帰って行う「家読」を子どもたちに推奨しています。本を読む課題につきましては、宿題が終わった後に読書をし、家庭学習ノートに感想や要約文を書いたり、自主学習の日に、本を読んで調べたことを家庭学習ノートにまとめたりすること等を指導し、引き続き推奨していきます。

【小中一貫教育について】

小中一貫教育の取組としては、今年度、6年生の部活動体験、中学校教諭による授業体験、合唱練習見学などを実施しました。授業においては、各教科における小中9年間の系統性を踏まえた指導を意識して行っています。学校だよりやHPにて、今後も小中一貫の取組についてお知らせしていきますので、ぜひご一読ください。